

中央後援会・赤坂後援会・荒崎後援会・西後援会・北部後援会・東部後援会・南部後援会・上石津後援会・日本合成後援会・さつき会(教職員後援会)・女性後援会・業者後援会・ぶんぶん後援会・医療生協有志の会後援会(準備会)・みかんの会(青年後援会)・保育後援会・ぎふコロナ後援会(西濃法律事務所内)

# 日本共産党 大垣市 後援会だより

改題第1号

部内資料

発行者：日本共産党大垣市後援会  
発行日：2015年8月1日(隔月発行)  
連絡先：大垣市室本町5-8  
Tel 78-6865 Fax 73-8572

しんぶん赤旗を読みましょう。  
日刊月3497円 日曜版月823円

## 後援会の発展・強化のために

日本共産党大垣市後援会代表 大谷 正義

いつせい地方選挙から3カ月がたちました。皆さんに送り出していただいた笹田・中田の両市議は、選挙が終わるや、息つくまもなく6月市議会に取り組みました。

新人議員である中田と市議にとつては、議員としての生活リズムもつかめないうまの初登壇での一般質問だったでしょう。

大垣市独自の奨学金制度の増額要求を掲げての質問でしたが、若者の立場に立つたさわやかなスタートとなった質問でした。

### 飛躍的に高まる 後援会の役割

自公による独善的な政権運営への批判が強まり、国民の立場に立つてぶれない共産党への信頼が寄せられています。

総選挙・県議会選挙・いつせい地方選挙と続く中で、選挙カーへの反応が増え、市議会選挙では新しい方の事務所への訪問がかつてなく増えました。

この「たより」を読んで

いる方は「トヨ子通信」「としゃレポート」を読んでいた方ではないでしょうか。同時に、この間の選挙で新たに共産党候補者に心を寄せていただいた方々に、より深く共産党を知っていただき支持を強めていただくためにも、後援会に参加しこの「後援会だより」を読んでいた方だと思っています。

### 市政報告と後援会 ニュースを分離

いままで、「トヨ子通信」「としゃレポート」を大垣市後援会で発行してきました。その内容は市政の状況と共産党市議の活動をお知らせすることを中心にしてきました。

このたび大垣市での共産党市議が2名になり、共産党市議団としての活動が飛躍的に広がりました。同時に、後援会の活動をもっと強めることが求められています。

そこで、共産党大垣市委

員会の要請も受けて、従来の後援会ニュースを改題して「トヨ子&としゃの市政報告」と「後援会だより」に分離して、それぞれの役割を明確化したうえで、共産党大垣市後援会は「後援会だより」として発行していくことにしました。

### 地域・分野別後援会 それぞれの活発化を

後援会は、上記の題字横に示すとおり地域では8組織、分野別では9組織ありますが、十分な活動はできていません。

政治的なものであれ、同好のグループの絆を深める行事であれ、さまざまな活動が企画運営されています。後援会主催にこだわることなく、各地域・分野で企画されたすぐれた活動を紹介しながら、共産党への理解を深めてともに歩んでいただくために、後援会への参加を呼びかけていきたいと思っています。

戦争法案(安全保障関連法案)が衆議院で強行可決され、参議院での審議が始まりました。安倍内閣の支持率は30%台に落ち込み、廃案に向けての国民的なたたかいが、いつそう高まっています。

### 横断幕掲げ

### 「戦争法案ゆるさない」

県内では、「ストップ戦争法! 安倍政権NO! 国民集会」(憲法9条を守る岐阜県共同センター)。「もう黙つとれん! 7・26パレードぎふ」(もう黙つとれんアクシオン実行委員会)による集会・パレードが繰り返し開催され、7月26日には、1000人におよぶ参加者が炎天下の岐阜市内を意気高くパレードしました。



クシオン。「平和・自由・いのちを守るコンサート」が400名で、7月18日には大垣駅南口で「アベ政治を許さない」アピールが150名で行われました。

7月21日からは、毎週月曜日に活動することを予定して、大垣市民病院角の禾森交差点で早朝街頭宣伝を始めています。

この場所は国道258号線と一宮線が交わる交差点で、午前7時から8時にかけて通勤用自動車の通行が多い場所。中田と市議が選挙期間中に早朝あいさつコールを続けた場所です。

その際にもにあいさつに立った中田地域後援会が中心になって、中田市議も参加しての活動になっています。

# 国民の声が政治をうごかす 真の民主主義を手にする大きな機会

二度にわたる強行採決で戦争法案は参議院に送られました。六〇日ルールでの法案成立を書き立てるマスコミですが、抗議する国民の声はますます大きくなっています。廃案への展望を語る志位委員長長の言葉を再録します。

日本共産党の志位和夫委員長は22日、共同通信加盟社・論説研究会で講演し、「これからのたたかいで戦争法案を廃案にすることは可能だ。参院での論戦、野党共闘、国民との共同で、何としても廃案を勝ち取りたい」と今後のたたかいの展望を語りました。同研究会には、全国から共同通信加盟各社の論説委員などが集まりました。

志位氏は、一部メディアのなかに、「60日ルール」を強調し、「安保法案は成立へ」などと「成立」を当然視して報じる動きを批判。予算案や条約と異なり法案には「自然成立」がないこと、政府・与党が戦争法案を成立させるには参院での強行採決か、衆院で強行再議決しかない指摘。強行採決を許さない国民世論が圧倒的多数となり、内閣支持率をさらに下落させる状況をつくれれば、安倍政権は立ち往生し、採決不能に追い込むことは可能だと力をこめました。

第二は、戦争法案反対のレビ番組に出演し、戦争法案について、「模型」まで使って、「戦争」を「火事」にたとえて説明していること。若者の行動、憲法学者、研究者、歴代元内閣法制局長官などの反対の声の画期的な広がりにふれた志位氏は、「いま広がりつつある戦争法案について説明する能力がないことを自ら告白しているようなものです」ときびしく批判しました。

さらにこの夏、安倍政権が、沖縄新基地問題、原発再稼働、環太平洋連携協定(TPP)、歴史認識問題などあらゆる問題で、国民との矛盾を大きく広げざるを得ないことを指摘し、「夏のたたかいはまさに正念場。国民とスクラムをくみ、党の総力をあげて、廃案のために全力をつくしたい」と決意を語りました。

## 戦争法案 廃案への展望を語る

共同通信社・論説研究会で志位委員長が講演

志位氏は、国会論戦で明らかになった戦争法案の問題点を「違憲性」「対米従属性」「歴史逆行性」の三つの角度から鋭く告発。党の「北東アジア平和協力構想」を紹介し、「これこそ戦争法案に対する、憲法9条を生かした真の平和的対案です」と強調しました。

志位氏は戦争法案廃案に向けた三つの展望を語りました。

第三は、安倍政権そのものが大きく行き詰まっていることです。安倍首相がテ

第一は、「法案には『自然成立』はない」ということです。



(写真)講演する志位委員長=22日、東京

第二は、戦争法案反対のレビ番組に出演し、戦争法案について、「模型」まで使って、「戦争」を「火事」にたとえて説明していること。若者の行動、憲法学者、研究者、歴代元内閣法制局長官などの反対の声の画期的な広がりにふれた志位氏は、「いま広がりつつある戦争法案について説明する能力がないことを自ら告白しているようなものです」ときびしく批判しました。

第三は、安倍政権そのものが大きく行き詰まっていることです。安倍首相がテ

# 市民病院の料金計算窓口改善を 車椅子の方のお世話をうけました

西濃地域の中核病院として、大垣市民病院は連日多くの患者を受け入れていますが、その市民病院の施設改善について、杉原幸子元市議から中田としや市議に要望が寄せられました。

車椅子の方が市民病院に行くとき、玄関先から介助していただけています。院内薬局の薬品受け取り窓口・支払い窓口は通常の高さ(1m)と一部低い窓口(80cm)になっていて車椅子の方も不自由なく支払いができます。南入り口の案内窓口も二段にしています。

5月に、杉原さんがボラティアで車椅子の方の世話をした際に、病院内の料金計算窓口(1m)が高く、車椅子に乗ったままでは窓口越しのやりとりがとても不自由だと感じました。

改善が実った際には、杉原市議(当時)はケガをしてもただではない、と市の職員の人たちが評価してくれました。

それに気づいたのは、杉原さん自身の18年前の体験からでした。骨折して車椅子で通院した際に薬局の窓口が高くて不自由だったので要望したところ、改善が実現したのです。

院内を歩いてみると、各診療科の窓口も車椅子の方にとっては高すぎるのではないかと思われます。一挙にすべては無理でも、今後の改善が求められます。

## 編集後記

この後援会だよりは、共産党の政策や活動をより深く理解していただくとともに、後援会の日常的な活動の様子を知っていただくために発行しています。

などを積極的にお寄せいただき、市議会議員に解決の努力をしようという、双方の活動になっていくことをめざしています。

皆さんの日常的な生活のなかで改善してほしいこと

改題第1号となる本号の紙面に関して、ご意見をお寄せください。魅力ある紙面をめざします。(編集子)